

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.132号 2023年12月6日発行

賑やかに秋のバザー

11月8日、前日の荒天で心配されましたが、一転素晴らしい秋晴れに恵まれ、もみじの赤いじゅうたん、秋らしい景色に心が躍りました。



出入り口の正面には秋のバザーの大人気クリスマスリース(事前の蔓採り作業から始まり、前週に作った力作です)。会員各々の工夫を凝らした手作りの品、ガーデンのラベンダー入りピロー、今年新設の木工部渾身のウッドターナー、バターナイフ、毎回提供して下さるウッディーさんのまな板等、多種多様な品々。ガーデン奥へとお客様をお誘いする看板も。奥ではハーブティーの振る舞いと販売、

色とりどりのドライフラワーの花束がたくさん。昨年も好評だったリサイクル品。以前ボランティアだった方々も種々提供して下さり、グリーンボランティアメンバーのご家族の協力作品にも感謝です。院内にもコーナーを設け、プラカード係も頑張ってくれました。開始前からたくさんのお客様が来て下さいました。準備から、販売、片づけと皆さん一丸となつての頑張り、お疲れ様でした。 [関]

11月27日、ハロウィンのランタン点灯

薄闇に包まれた幻想的な庭に灯がともる。いつもと違う庭。去年よりもたくさんの方々の来庭、うれしい限り。子供たち、患者さん、看護師さん、ドクターなど、カボチャの灯を楽しんでくださった。グリーンボランティアの仲間たちもたくさん来て、魔女もいっぱい。



屋上庭園に点灯に行くくと、廊下ですれ違った子供たちが「魔女だー!」と喜んでくれた。薄暮のカボチャの灯りに皆さん、何を思ってくくださったのだろう。

前々日のカービングでは、おもちゃカボチャに絵を描く子供たち、「楽しい!」と、若い入院患者さんは3つもカービング。「去年

もやらせてもらったのよ」と、通院途中の年配の患者さん。ドクターの力作は素晴らしい出来映え。準備も本番も楽しかった。

今年の反省から、しっかりと立派なろうそくを既に手に入れ、来年に備えている。2, 3年ろうそくに困ることはないと思う。ご協力感謝至極。[加藤(津)]

コラム No.25 庭づくりに関わって

ガーデンプランニングを担当して2年になります。本当はプランニングなんて恐れ多くて庭のことは何も知りませんでした。お花の名前もほとんど知りませんでした。

入院中ハーブガーデンを散歩した時に居心地がよくてとっても素敵だったので、実際に作業することで庭づくりを覚えられたらいいなと参加させていただいたことが始まりでした。ボランティアの初日にまずは雑草とりをしていたところ、雑草とりだけでなく植え替えのお手伝いをして楽しかったことを覚えています。今では書籍も増えたり SNS で写真を見たり、植物園や近隣の素敵なガーデンを見学に行くようにもなりました。最近の本に、

「居心地よくのびのび育つよう、植物の声に耳を傾けながら、時間を掛けて庭を育てていくこと」という言葉がありました。

いつもガーデンプランニングでは、庭を見ながら「どうしたらいいか」と相談しています。季節や日当たり、作業のこと、そして年月とともに変化していく庭を見ながら悩みながらも楽しい作業です。植物にとって居心地がよく、訪れる皆さんにとっても癒やされる居心地のよい庭に育ってくれるような庭づくりを心がけていきたいと思います。



[久保田]



学習会のお知らせ



1月～3月の冬休み中に下記の日程で、学習会を開催します。

- ◎1月24日(水) 10:00～11:00 活動についての話し合い
11:00～12:00 鎌田實先生のお話
- ◎2月28日(水) 10:00～12:00 庭づくりについて
- ☆3月13日(水) 10:00～11:00 萩尾エリ子先生のお話
11:00～12:00 会計報告、新年度の活動について

*会場(月によって違うので、ご注意ください)

◎1, 2月⇒講堂(病院東棟2階)

☆3月⇒第2会議室(研修棟3階:東の庭出入り口を入り、右手奥のエレベーターで3階へ)

*飲み物は各自ご持参ください。